

きく組

— 3学期の目標 —

- ◎ 友だちと協力し合いながら、活動をやり遂げた充実感を味わう
- ◎ 就学に向けて期待を持ち、自分のことは自分で判断し、行動しようとする

— 活動内容 —

等身大を作ろう～！

(自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え豊かな感性と表現、言葉による伝えあい、数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚)

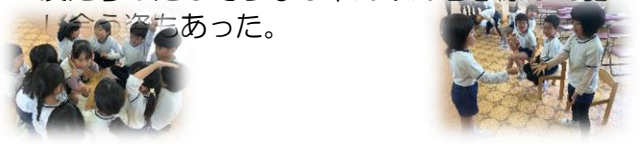
- ・ 子ども達に等身大を作ること提案し、作ってみることになる。
- ・ それぞれペアを組み、新聞紙に寝そべり、クレヨンでお互いの身体の型をとっていく。細かったり、太かったり型どった形を見比べ大きさを比較する姿が見られた。
- ・ 表は、絵具とクレヨンで顔、洋服を描いていく。裏は、習字で自分の名前を書いていく。自分の好きな洋服を描く子どももいれば、いろいろな色を使う子どももいて、思いおもいに描いていた。習字では、ほとんどの子どもが初めての経験で、緊張した表情を見せていた。
- ・ 立体を作るにあたって、新聞紙をねじったり、丸めたりしながらいれていく。丸める大きさやねじり方など、力加減で個人差が見られるが、一つひとつ丁寧に作り上げていた。
- ・ 実際に出来た作品をお互いに見合ったり、見比べて工夫たことを伝えたり、教える姿があり、皆とても嬉しそうだった。



がんばるぞぉ～！

(健康な心と体、協同性、思考力の芽生え、社会生活との関わり・言葉による伝え合い、思考力の芽生え、豊かな感性と表現)

- ・ 定期的にゲームを取り入れていく。
- ・ 子ども達の中で大人気な『王様じゃんけん』を卒園前に話し合いをし、することが決まる。
- ・ チーム名を決め、それぞれのチームで作戦会議を行なう。どのように順番を決めるか、何人かの友だちがリードし話しを進めながら皆の意見を聞く姿が見られたり、順番が重なったときは「じゃんけんをしよう」と提案し、決める姿が見られた。又、譲り合う姿や、交渉する姿もあった。
- ・ ゲーム開始の掛け声では、それぞれのチームの団結する姿が見られた。ゲーム中、応援する姿、励ます姿、一緒かけ声をいう姿が見られた。
- ・ 勝敗が決まり、結果を発表すると、涙を流す子どももいたが、側に寄り添い声をかける姿もあった。負けてしまった友だちも、勝った友だちに拍手をする子や「次はまけないからね！」という子どももいた。
- ・ 友だちがだしそうなじゃんけんを想像して話し合った姿もあった。



— 3学期の反省 —

- ・ 作品展に向かってみんなで話し合ったり、イメージを膨らませながら取り組むことができ、言葉や表現方法が豊かになり、自分の思いや考えをしっかりと伝えられるようになった。
- ・ 友だちとの関わりが深まり、協力したり、役割を分担し、ルールを守りながら遊びを楽しむ姿がみられるようになる。トラブルを解決する力もついてきた。

— 年間反省 —

- ・ 一つひとつの活動や行事などさまざまな経験を通して、一人ひとり自信がついてきた。自分の強みを受け止め、友だちのよいところを認め合う場面がたくさんみられるようになった。又、活動では一年を通して取り組んできたことがたくさんあり成長をみることもできた。
- ・ 感情のコントロールができるようになり、自分の考えや気持ちを相手に伝えることができるようになる。さまざまな遊びや日常の中で、お互いの話しを聞き合い、折り合いをつけながら過ごしていけるようになった。
- ・ 自分でできることが増え、身の回りのことができるようになった。又、友だちや小さい子どもの世話をする場面も増え過ごすことができた。